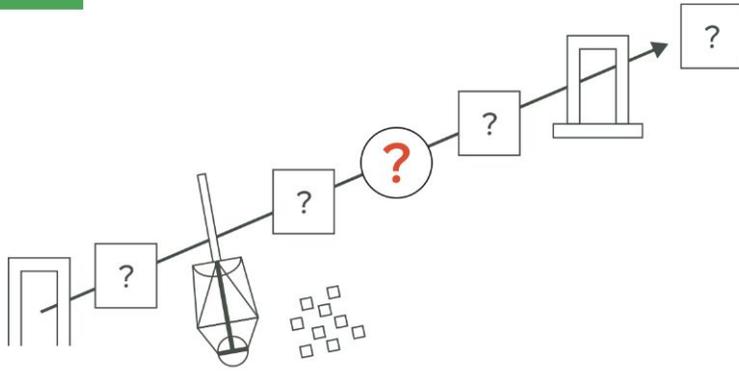


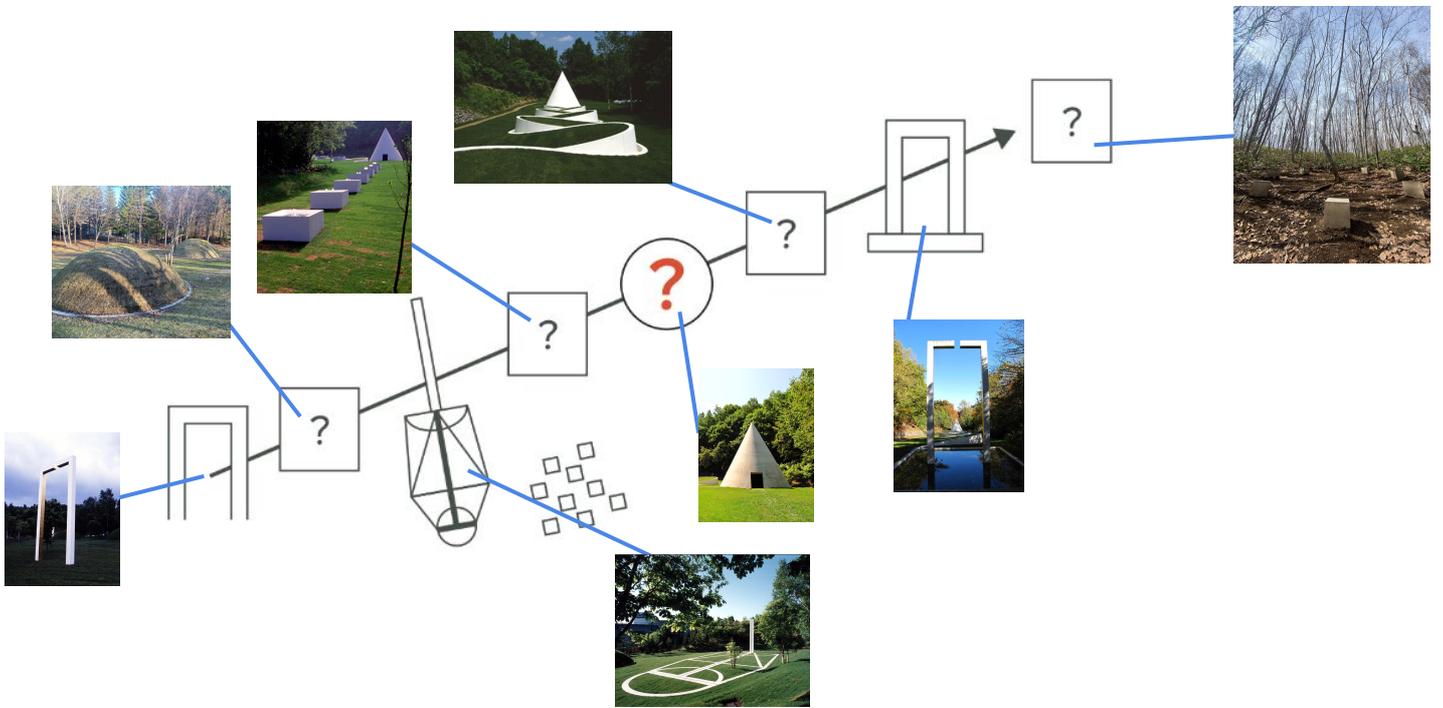
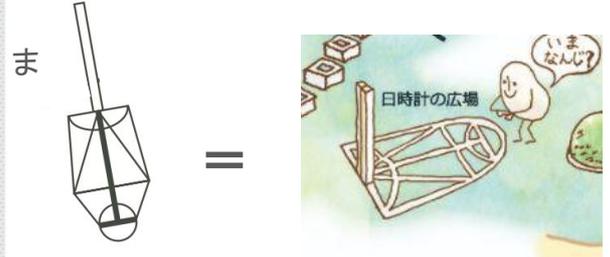
Q1-2



? = Answer (こたえ)



この象徴的なマークをまず探そう。
マップを見ると、《隠された庭への道》のオブジェのひとつだとわかった。



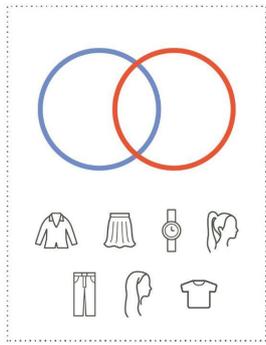
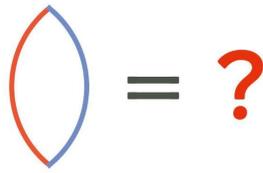
? =



よって、"不思議なパーツ"は三角形をしているピザだ。



Q2-2



この彫刻は、《ふたり》だ。



《ふたり》は前に座っている女性と後ろに座っている女性がいる。二人の女性の特徴や身につけているものをよく見てみよう。

前に座っている女性



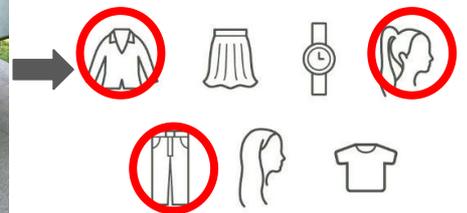
- ・髪を下ろしている
- ・Tシャツを着ている
- ・ズボンを履いている



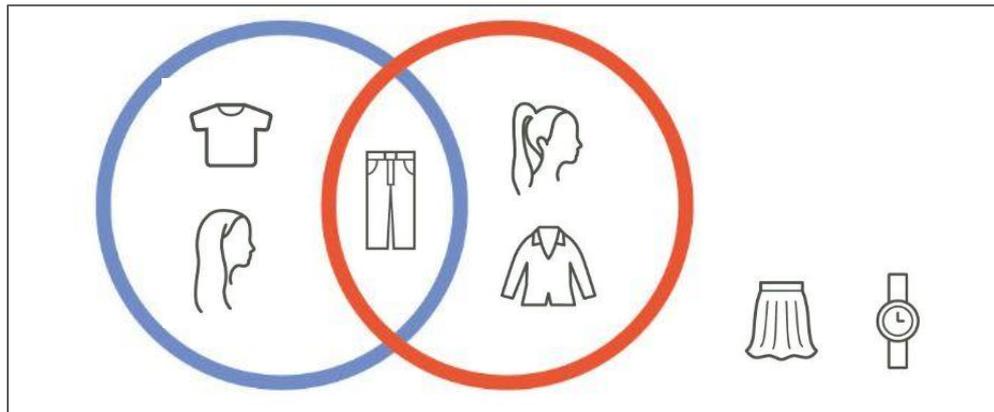
後ろに座っている女性



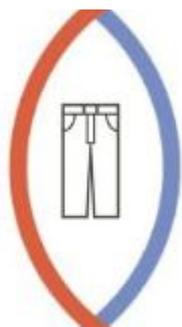
- ・ポニーテール
- ・ボタン付きのシャツを着ている
- ・ズボンを履いている



青い円は前に座っている女性の特徴・身につけているものに当てはまるものを、赤い円は後ろに座っている女性の特徴・身につけているものに当てはまるものを入れていくと、下記の通りになる。



赤と青の弧を描いたマークの中にあるのはズボンだ。よって、“不思議なパーツ”はズボンが描かれたパーツを選ぼう。

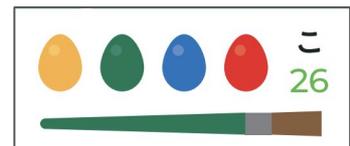


=

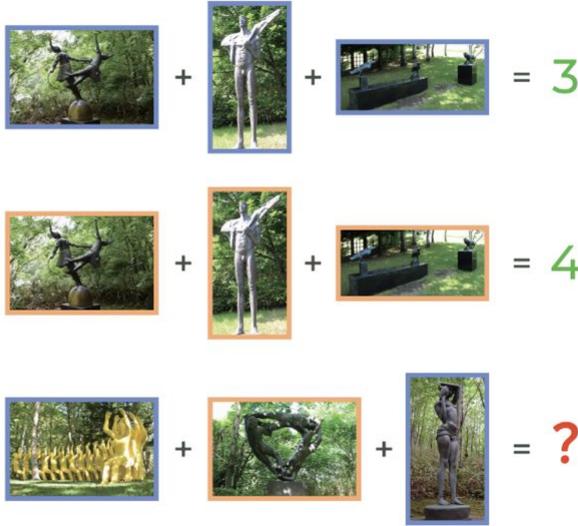
裏面



表面

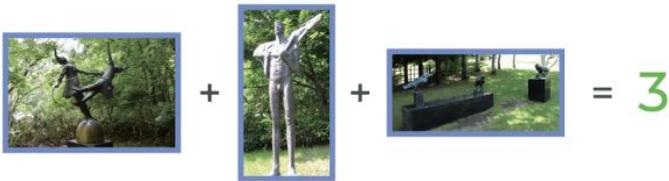


Q3-2



写真には、
《風と舞う日》、
《道標一けものを背負う男》、
《道標・鴉》、
《椅子になって休もう》、
《トライアングル》、
《彩霞燈》
が登場している。

まずは下記の彫刻の計算式の法則を見出そう。



《風と舞う日》 人間が2人
動物はいない
《道標一けものを背負う男》 人間が1人
獣が1匹
《道標・鴉》 人間はいない
鴉が3羽

同じ写真なのにも関わらず、
上は答えが3に、下は答えが4と異なる。

写真の中の彫刻をよく見ると、
人間の形をした彫刻と動物の形をした彫刻があるよう
だ。



《風と舞う日》 人間が2人
動物はいない
《道標一獣を背負う男》 人間が1人
獣が1匹
《道標・鴉》 人間はいない
鴉が3羽

その人間と動物に着目すれば、
青の枠に囲まれた写真は人間の数を、
オレンジの枠に囲まれた写真は動物の数を、
数えて足していくことで計算式の法則が成立した。

下記の彫刻の写真の枠を見て、青の枠は人間、オレンジの枠は動物の数を数えてみると、

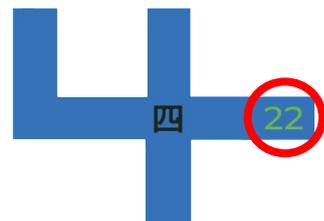


《椅子になって休もう》
人間が21人
動物はいない

《トライアングル》
人間が3人
動物はいない

《彩霞燈》
人間が1人
フクロウが1羽

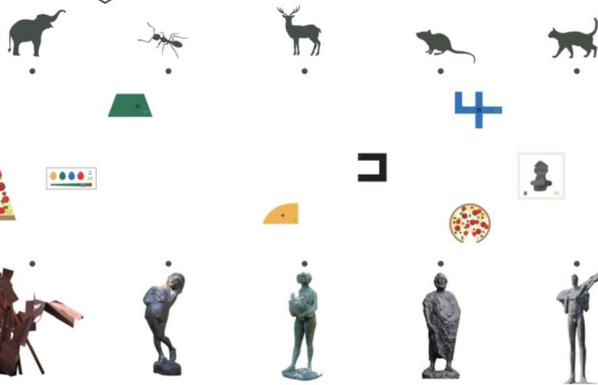
答えは「22」になる。
”不思議なパーツ”は「22」の数字が入ったパーツになる。



Q4-2



? = Answer (こたえ)



上は、ゾウ、アリ、鹿、ネズミ、猫の絵が並んでいる。

下は、《ダイナモ》、《亜古》、《鶏を抱く女》、《抜海の漢》、《道標一けものを背負う男》が登場した。

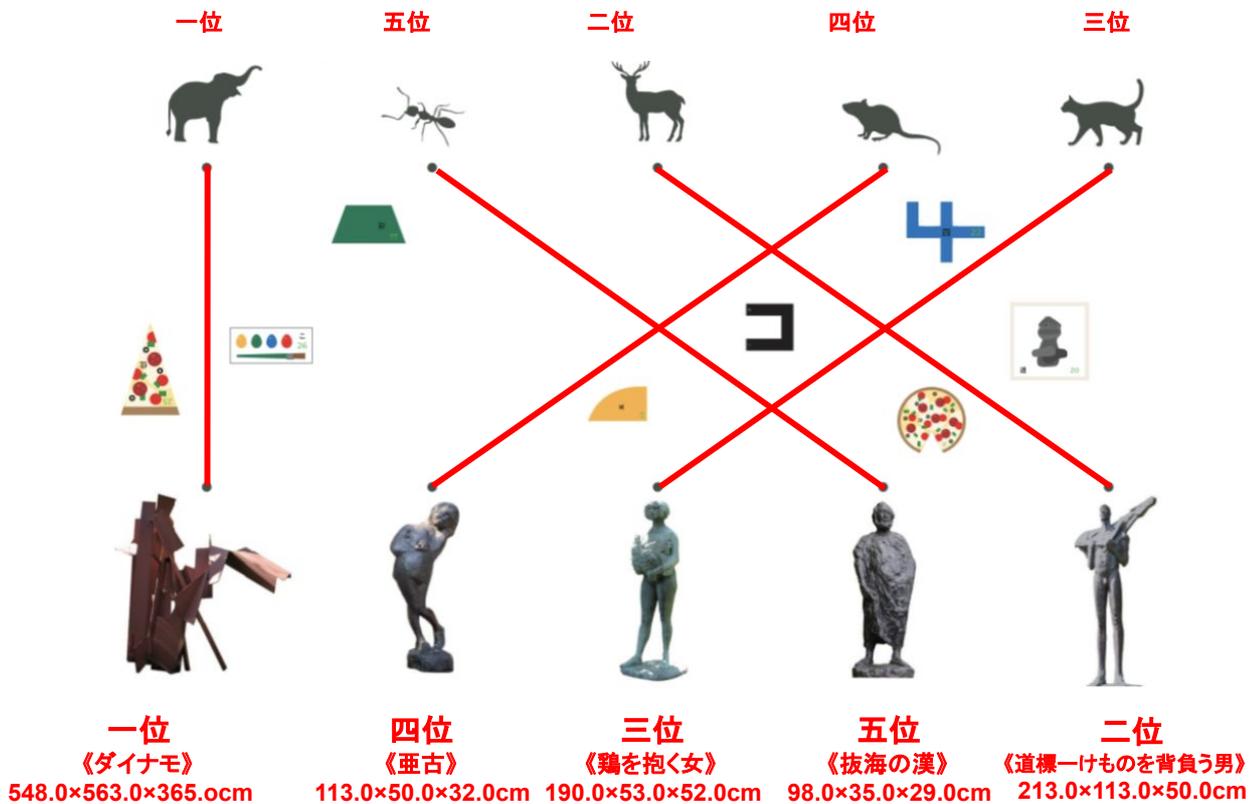
この図式は何を意味しているのだろうか。

それは、大きさだ。

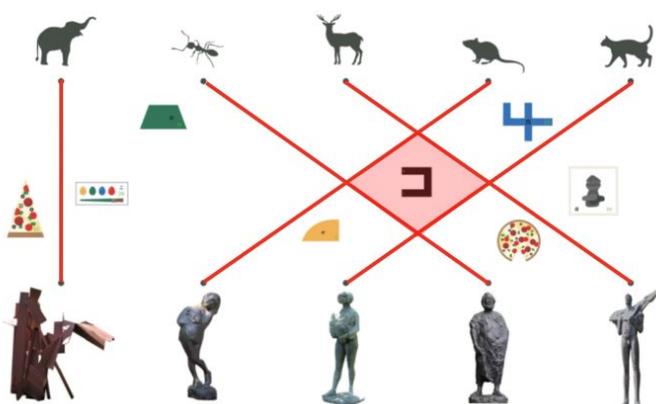
動物の大きさの順は、

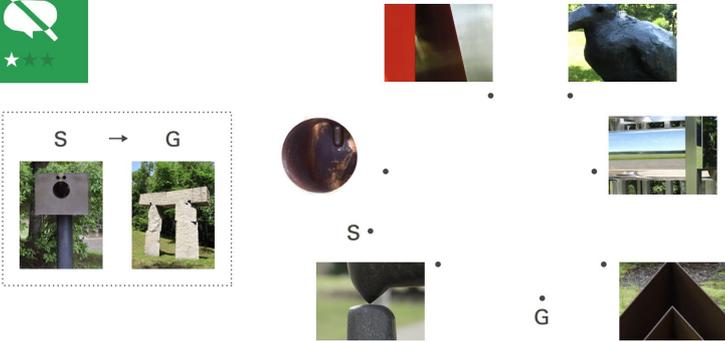
ゾウ→鹿→猫→ネズミ→アリ になる。

上記に合わせて、彫刻を実際に観にいき、大きさを確認すると、

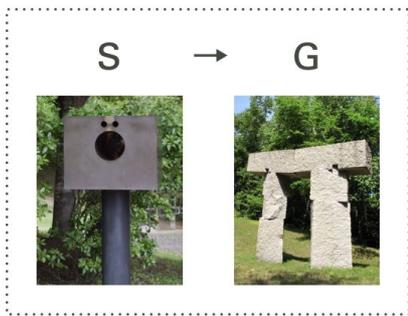


線を正しく結ぶと、ダイヤが現れた。その中にある不思議なパーツが答えだ。

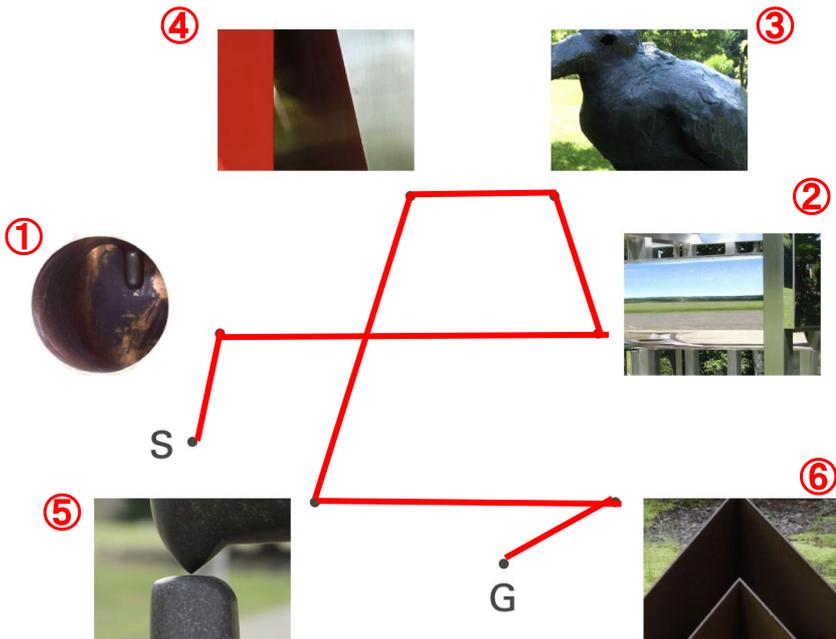




S→G は、START の「S」、GOAL の「G」を意味する。
 Sの《のどちんことはなのあな》からスタートし、Gの《道》に向かうと、下記のルートをとることになる。



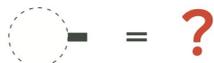
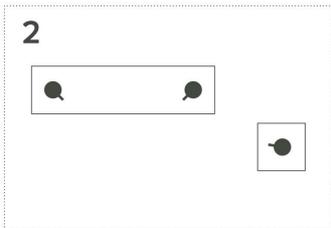
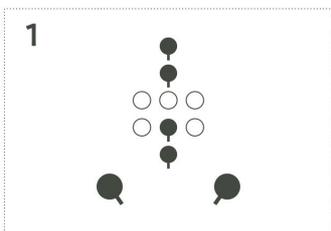
実際にSからGまでたどった時に、出会った彫刻の順に線を結ぼう。



- S 《のどちんことはなのあな》
 ↓
 ①《のどちんことはなのあな》の穴の中
 ↓
 ②《1・9・8・5知性沈下》の一部
 ↓
 ③《道標・鴉》のカラス
 ↓
 ④《異・空間》の一部
 ↓
 ⑤《開拓の祈り(祈り=II)》の顎と手
 ↓
 ⑥《マイスカイホール 85-7》のオブジェの一部
 ↓
 G 《道》

結んだ時に現れた図形は台形だ。
 よって不思議なパーツは右の通りだ。

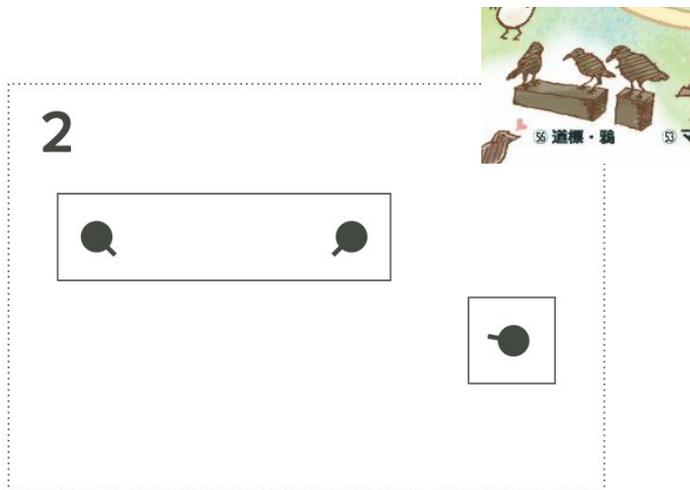
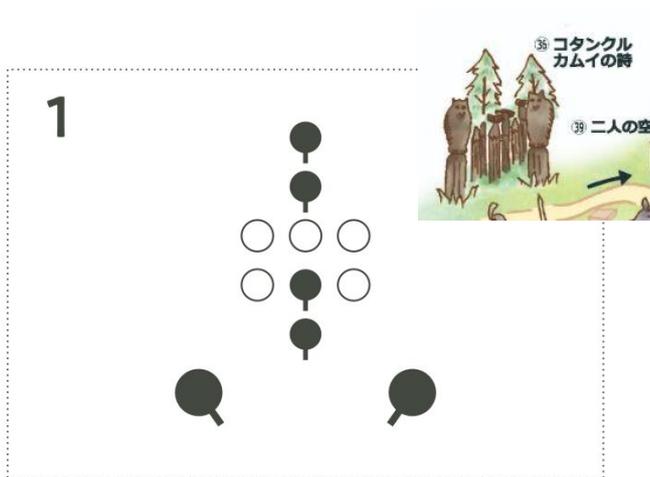
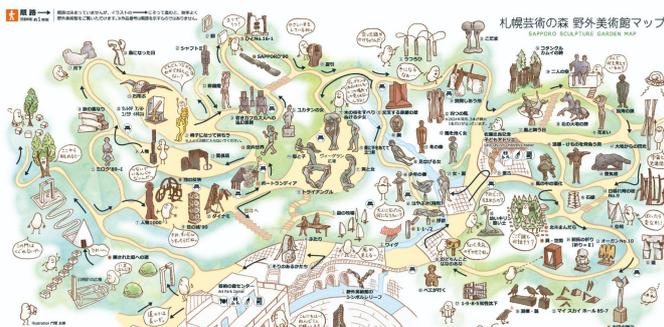




この爆弾のようなマークはなんだろう？



地図から彫刻を探してみよう。
似たような配置はないだろうか。



1は《コタンクルカムイの詩》は2羽のフクロウと4羽の黒い鳥の配置図、
2は《道標・鴉》は3羽のカラスの配置図である。

共通点は鳥だ。



つまり、
丸いのは鳥の頭で、
線は鳥のくちばしだとわかる。

よって不思議なパーツは、くちばしだ。

